

特集 2 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応 社内における取り組みと社会への支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響が長引く中、オカムラグループは政府と各都道府県の方針などに基づき、感染防止による安全確保のための対策を実施してきました。また、ニューノーマル（新しい生活様式）も見据えながら、製品提供や情報発信を通じて企業や学校などの対応を支援し、安心できる生活や仕事の環境整備に貢献しています。

従業員の安全確保に向けた取り組み

在宅勤務制度の活用や柔軟な業務形態による対応

オカムラグループでは、各事業所において感染対策を徹底するとともに、在宅勤務制度やフレックスタイム制度の活用、遠隔会議システムの利用、海外出張の禁止、国内出張の自粛などにより、ウイルスに感染するリスクを低減し、従業員とその家族の安全確保を図っています。（詳細→P.35、138）

従業員の健康面のサポート

在宅勤務を行っている従業員の健康状態、精神的ストレス・不安などに関するメンタルヘルスサーベイを通じて、勤務形態の変化による心身への影響を把握し、健康管理につなげています。

（詳細→P.132）

また、感染リスクを低減するために、従来は対面で行っていた産業医面談を、勤務事業所や自宅からオンラインで実施できるようにしています（2021年4月現在8~9割をオンラインで実施）。（詳細→P.135）



研修のオンライン化による柔軟性の拡大

オカムラグループでは2020年度、新型コロナウイルス感染対策として研修などをオンライン化し、オフィスや自宅などで学べる機会を広げました。こうした経験を生かし、さまざまな状況に対応できる研修形態や手法を取り入れながら、今後も人材育成の取り組みの充実を図っていきます。（詳細→P.123）

聴覚障がい者の意思疎通

新型コロナウイルス感染防止のためのマスク着用により、聴覚に障がいがある従業員は、読話（口の形を読み取ること）での意思疎通が困難になります。このような状況に対応するため、本人のニーズをふまえ、コミュニケーションに支障が生じることなく、働きやすい環境を維持するためのサポートを行っています。

（詳細→P.121）

オンラインによる雑談タイム

人材開発部では2020年4月から、オンラインによる「雑談タイム」を月に2~3回設けています。特に目的を持たない対話をチームメンバー間で行い、相互の関係性を高めることにより、コロナ禍の影響で不足しがちな従業員間のコミュニケーションを促すことにもつながっています。（詳細→P.134）



大スクリーンでの体験型研修

長野県信濃町の「アフアの森」では、従業員を対象に森の手入れなどの体験型研修を実施してきました。2020年度はコロナ禍により現地へ行くことができなかったため、オフィスの大スクリーンで研修の動画や「木」に関連する取り組みの動画を流すなど、従業員の環境意識を高めるための取り組みを行っています。

（詳細→P.102）



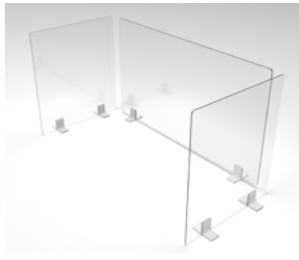
特集

社会へ向けた取り組みと情報発信

感染防止環境の整備とテレワークのサポート

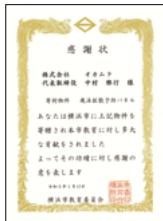
飛沫拡散防止のためのパネルを発売

オカムラは2020年5月に、デスクやテーブルに置いて前面や側面を物理的に隔てる「飛沫拡散防止デスクトップ仕切りパネル」を発売。多くの企業で感染防止に役立てていただいています。
(詳細→P.55)



飛沫拡散防止のパネルを小学校へ寄贈

子どもたちのために何かできないか、という従業員の想いから、学校に適した飛沫拡散防止のパネル制作に着手。オカムラ創業の地である横浜市磯子区岡村にある岡村小学校で検証を行い、ダンボール製と樹脂製のパネルを寄付しました。図書室や家庭科室などで使用いただいております。横浜市教育委員会より感謝状をいただきました。
(詳細→P.55)



在宅ワークを環境からサポート

オカムラは2020年12月に、コンパクトで機能的な在宅テレワークサポートツール「VIVANT(ヴィヴァン)」を発売。法人のお客様には、従業員が在宅ワーク用の家具を購入できるプログラムサービスも提供しており、こうした製品やサービスを通じて、コロナ禍における働き方の変化への対応を支援しています。
(詳細→P.55)



テレワークやWebでの採用面接に活用できる空間を提供

コロナ禍によりテレワークをはじめリモートによる業務やコミュニケーションが広がる中で、就職活動においてもWebによる面接が増えています。自宅の環境では面接に集中できないという声も聞かれます。そこでオカムラは各社と共同で、期間限定の「テレキューブ Web会議センター」を開設し、空間を提供。また、麗澤大学では、キャリアセンターのリニューアルにおいて、オンライン対応の個室ブースを5台設置いただきました。
(詳細→P.65)



ニューノーマルに向けた情報を社会に発信

レポートや調査結果などの公開

オカムラは、オフィスなどにおける取り組みの一助としてもらうことを目的に、新型コロナウイルス感染拡大によって変化する働き方と働く場を考える指針となるさまざまなレポートや、リモートワークに関する調査結果などを、Webサイトに公開しています。
(詳細→P.66)



「WORK MILL」の活動と発信

オカムラは、働き方や働く場をさまざまなステークホルダーと共に描くことを目的とした、“はたらく”を変える活動「WORK MILL(ワークミル)」を推進。蓄積したデータや調査・研究結果を、Webマガジンやビジネス誌の発刊などを通じて発信し、明日の社会のニューノーマルを見つめ、考え、行動へとつなげています。
(詳細→P.67)

